

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 269

事務事業名	放課後児童クラブ施設整備事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	こども未来部		
課名	こども政策課		
課長名	田下 陽一	内線	170
担当者名	田家 真史	内線	170

基本目標		人を育むまち
政策	010104	子育てしやすいまちづくり
施策		子育てと仕事の両立
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	2	児童福祉費	
目	1	児童福祉総務費	
事業コード	020110	放課後児童クラブ施設整備事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	おおむら子ども・子育て支援プラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	放課後児童クラブの整備を行う社会福祉法人等		
意図 対象をどのような状態にしたいか	放課後児童クラブの施設整備を促進することにより、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	放課後児童クラブの整備及びそれを行う社会福祉法人等に対する補助を行う。		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	子ども・子育て支援整備交付金交付要綱、長崎県児童福祉関係社会福祉施設整備費補助金実施要綱、大村市放課後児童クラブ施設整備事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 放課後児童クラブの施設整備数	計画値			1	3	
		実績値	か所			1	
		達成度	%			100.0%	
成果指標	① 放課後クラブを利用する児童数	計画値			1,441	1,561	
		実績値	人			1,455	
		達成度	%			101.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	12,378	49,923	49,923	0	0	0
国庫支出金			4,126	16,641	16,641			
県支出金			4,126	16,641	16,641			
地方債				13,300	13,300			
その他								
一般財源			4,126	3,341	3,341			
② 人件費(千円)	0	0	0	1,494	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)				0.20				
時間外勤務(時間)				20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	12,378	51,417				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	放課後児童クラブが未設置であった三浦小学校校区に、三浦学童クラブの施設整備を実施し、放課後に児童が安全かつ快適に過ごせる環境を整備した。
事業が抱える問題・課題等	共働き家庭の増加に伴い、放課後児童クラブへのニーズは年々高まっており、今後も利用児童の増加が見込まれ、施設の不足が予想される。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	共働き家庭の増加に伴い、放課後児童クラブへのニーズは高まり、登録児童数も年々増加するなど、放課後児童クラブの果たす社会的役割は大きい。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
おおむら子ども・子育て支援プランにおいて、放課後児童クラブの保育の質の向上や保育環境の整備を計画的に進めるため、放課後児童クラブを積極的に支援することとしている。							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	放課後児童クラブを利用する児童数は年々増加しており、共働き家庭を中心に放課後における児童の安全な保育環境の整備に大きな効果がある。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
適切な保護・指導のもとで安全な放課後保育を実施することにより、放課後に養育をするものがない家庭の仕事と生活、子育ての調和が図られるなど、児童福祉の充実に大きな効果がある。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	国・県の補助金基準に基づいて定めており、削減の余地はない。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
国・県の事業実施要綱に基づき市の負担割合は決定されており、見直しの余地はない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	おおむら子ども・子育て支援プランに基づき、計画的な施設整備を進めていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	保育施設等の計画的な整備を進めることにより、待機児童の発生を防止するとともに、安全かつ良好な保育環境が確保される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。